

各地に広がる協定森林。



協働の森づくり事業とは？

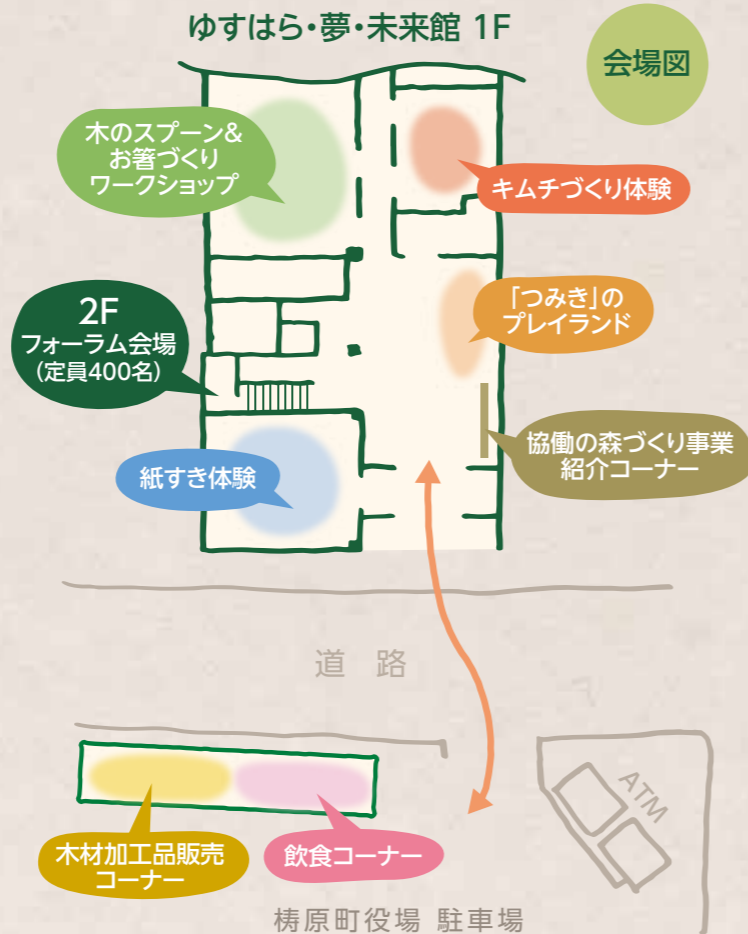
高知県は、県土の84%が森林に覆われた森林県です。この森の持つ“大きな力”を守るため、平成17年度に「協働の森づくり事業」はスタートしました。環境保全に熱心に取り組む企業の皆様と市町村及び高知県等が「協働の森パートナーズ協定」を締結し、手入れの行き届かない森林の再生や地域との交流による地域の活性化に取り組んでいます。これまでの協定による協賛金額は5億5千万円を超え、約4,000haの森林整備が行われています。

※平成28年7月現在

これまでに協定を締結した企業・団体一覧

- | | | |
|--|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 三井物産株式会社 * | 23. 株式会社ハート * | 45. 株式会社朝日技研 / 朝日協力企業会 * |
| 2. キリンビールマーケティング株式会社 | 24. 日本道路株式会社 | 46. 株式会社井ハルテック * |
| 3. 電源開発株式会社 | 25. 三菱石油株式会社 | 47. 株式会社清流メンテナンス |
| 4. 四国電力株式会社 | 26. 株式会社ツムラ | 48. 浅野環境ソリューション株式会社 |
| 5. 全日本空輸株式会社 * | 27. 電源開発株式会社 | 49. (一社) 四国クリエイティブ協会 |
| 6. 矢崎総業株式会社 | 28. 西日本高速道路株式会社 四国支社 | 50. 高知西ロータリークラブ * |
| 7. 日本たばこ産業株式会社 | 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社 * | 51. 太平洋セメント株式会社 / 高知太平洋鉱業株式会社 |
| 8. 太陽石油株式会社 | 29. 株式会社加寿翁コーポレーション | 52. KDDI株式会社 |
| 9. 株式会社損害保険ジャパン * | 30. (一社) more trees | 53. 株式会社内田洋行 * |
| 10. トヨタ車体株式会社 * | 31. 高知工科大学 / 高知工科大学後援会 | 54. 高知空港ビル株式会社 * |
| 11. 生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合 | 32. (一社) 高知県トラック協会 | 55. ニッポン高度紙工業株式会社 |
| 12. 株式会社四国銀行 | 33. NTT西日本グループ | 56. クラブツーリズム株式会社 |
| 13. ルネサス セミコンダクタ マニファクチャリング株式会社 高知工場 * | 34. 株式会社オンワードホールディングス | クラブツーリズムパートナーズ会 |
| 14. 住友大阪セメント株式会社 | 35. 商店街振興組合 原宿表参道博覧会 | 57. 井上石灰工業株式会社 |
| 15. 高知トヨペット株式会社 | 36. 奈半利川淡水漁業協同組合 | 58. 四国コカ・コーラボトリング株式会社 * |
| 16. 川崎重工業株式会社 | 37. 株式会社四万十ドラマ | 59. 株式会社四国舞台テレビ照明 |
| 17. 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 38. 三菱商事株式会社 | 60. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 |
| 18. コクヨグループ | 39. 旭食品株式会社 * | 損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部 |
| 19. 日本興亜おもいやり倶楽部 * | 40. 東京海上日動火災保険株式会社 | 61. 西日本高速道路株式会社 四国支社 |
| 20. 富士通グループ | 41. 日鉄住金環境プラントソリューションズ株式会社 | 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社 |
| 21. (一社) more trees | 42. 株式会社DMI * | 62. 高知空港ビル株式会社 |
| 22. 一青 奨 * | 43. セントラルグループ | 63. 株式会社建設マネジメント四国 |
| | 44. 福島ミドリ安全株式会社 | |

*は協定満了企業・団体



主催：高知県 共催：桧原町
 お問い合わせ
 高知県林業振興・環境部 林業環境政策課
 〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7-52
 Tel.088-821-4586 Fax.088-821-4576

2016 第10回 協働の森フォーラム



第10回 協働の森フォーラム

森の力 人が森を助ける。 森が人を助ける。

「なぜ、多くの企業が高知県の森林再生に力を注ぐのか」

森に関わる人々の様々な想いを聞きながら、「社会貢献」がもたらす「森林と地域の活性化」について共に考えましょう。

8.27 土 11:00 - 17:00

[会場] 桧原町 ゆすはら・夢・未来館

申込不要 参加無料

木にふれ、森を感じよう！



木にふれ、森を感じよう!

全国一の森林率を誇る高知県。県土の84%が森林です。この森はみんなの財産であり、たくさんの「大きな力」を持っています。木にふれ、森を身近に感じ、様々な角度から森を見ていただくため、第10回となる「協働の森フォーラム」と森に関する楽しいイベントを同時開催いたします。多くの企業や団体が高知県の森の再生に取り組む理由を体験しにきませんか? 美味しい食べ物や楽しいイベント盛りだくさん! ぜひご家族でお気軽にご来場ください。

timetable

- 11:00~ イベント開始
- 13:30~ フォーラム開始
開会挨拶(高知県知事、梶原町長)
感謝状贈呈
- 14:00~ 基調講演
- 15:00~ パネルディスカッション
- 16:30~ 閉会

森の恵みを体験する / 楽しいイベントも!



土佐の匠 和紙アーティスト ロギールさんの紙すき体験

【参加費】1人:500円(約60分)

梶原で栽培した楮や三椏を原料に使い、草花をすき込み、自然素材の色原料を使って絵を描くように自分だけの「和紙ハガキ」を作れます。

隈研吾×モア・トゥリーズ「つみき」のプレイランド ほか

建築家・隈研吾氏がデザインした「つみき」で遊べるコーナーや、世界に一つだけの木のスプーンやお箸づくりができるワークショップ(有料)など、木にふれて遊べる催しいろいろ!



木のスプーンづくり

【参加費】1人:500円



木のお箸づくり

【参加費】1人:500円(約30分)



想像力をかき立てる木の「つみき」で遊ぼう!



地元梶原の白菜と本場韓国の香辛料を使った本格キムチづくりを体験できます。

【参加費】1人:1,000円(約60分)

県産材木製品の販売も!

- エコアス馬路村
- 山のくじら舎
- 土佐龍 ほか

森の恵み“ジビエ”料理ほか、地元梶原のご当地グルメなど、おいしい物が大集合!

- チムジルバン・レストラン鷹取
- D'a Pan屋~だっぱんや~
- 梶原町きじ生産組合
- 手抜きうどん
- みよし ●とっこちゃん

ジビエやご当地グルメも!



豚キムチ

チヂミ

キジ飯

キジ丸丼

キジバーガー

第10回 協働の森フォーラム

森の力 人が森を助ける。森が人を助ける。

基調講演講師



Photo by PEY INADA

隈研吾建築都市設計事務所 隈 研吾

東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、現在、東京大学教授。初期の主な作品には、森舞台/登米市伝統継承館(1997)(日本建築学会賞受賞)、グレート・バンブー・ウォール(北京、2002)など。近年では、日本国内で、サントリー美術館(2007)、根津美術館(2009)、浅草文化観光センター(2012)、長岡市役所(2012)、歌舞伎座(第五期・2013)、豊島区庁舎(2015)、富山キラリ・富山市立ガラス美術館・図書館(2015)、小松精練Fabo(2015)などを発表。海外では、リヨン・コンフレアンス HIKARI(2015)、中国美术学院杭州民芸博物館(2015)などを完成させている。進行中のプロジェクトでは、ヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアム・ダンディー(英・進行中)など。梶原町では「梶原町総合庁舎」や「雲の上のホテル」など、4棟を手掛けている。また、東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場の設計にも携わっている。「自然な建築」(岩波新書)、「小さな建築」(岩波書店)など著書多数。

ディスカッションコーディネーター



(一社)more trees 事務局長 水谷 伸吉

慶応義塾大学経済学部を卒業後、2000年より(株)クボタで環境プラント部門に従事。2003年よりインドネシアでの植林団体に移り、熱帯雨林の再生に取り組む。2007年に坂本龍一氏の呼びかけによる森林保全団体「more trees」の立ち上げに伴い、活動に参画し事務局長に就任。森づくりをベースとした国産材プロダクトのプロデュースのほか、カーボンオフセット、ツーリズム、被災地支援や全国での講演、執筆なども手掛ける。「more treesの森」は日本に11か所あり、高知県では、梶原町と中土佐町で「more treesの森」の森林再生に取り組んでいる。

パネルディスカッションパネリスト



矢崎 裕彦 代表取締役会長 梶原町との協定

2006年、高知県梶原町と「もったいない!未来に夢をつなぐ森」をテーマに「協働の森づくり協定」を締結、その後、愛媛県境にある造林地をOAAO(One for All, All for One)ロードと名付け、同町と共にその整備に取り組み2011年に森林セラピーロードの認定を受ける。矢崎氏が経営する矢崎グループではまた、毎年この地で森づくりの体験を兼ねた従業員による間伐作業を行う一方、従業員の子を対象とした「サマーキャンプ」では、森づくり体験に加え、川遊びやよさこい踊りのプログラムなども用意される。これら一連の活動は、地域と企業と一緒に汗をかきながら人と森をつないでいきたい、という氏の思いをかたちにしたものであり、梶原町と地域の方々の全面的な協働と理解のもとに運営されている。



ニッポン高度紙工業(株) 総務課長代理 関 誠一 いの町との協定

ニッポン高度紙工業(株)は、土佐和紙を原点として誕生し、地元高知にこだわりながらもグローバルな企業として世界一の製品造りを追求している。同社にとって、水は質・量共に非常に重要な資源の一つであることから、2011年に、創立70周年記念事業の一環として、本社が位置する仁淀川水系の森林保全を目的に、いの町の森を協定林とし「協働の森づくり協定」を締結。この森を「輪の森」と名づけ、毎年、従業員やその家族と共に間伐体験等を行い、交流の輪を広げている。また、地球環境保全が全人類共通の最重要課題の一つであるとし、全社を挙げて「人と環境にやさしい企業活動」に取り組み、豊かで持続可能な社会の実現に取り組んでいる。



宮崎県諸塚村 企画課長 兼地方創生担当課長 矢房 孝広 諸塚村more treesの森

九州大学建築学科卒業後、東京都などで建築設計事務所に勤務。1995年Uターンし、諸塚村役場入庁。地域材による環境に優しい「諸塚村産直住宅」を通算400棟供給。一級建築士と森林インストラクターの資格も持ち、2001年から地域人材と森林資源を活用する交流事業を担う諸塚村観光協会の事務局長、常務理事を歴任し、法人化、経営基盤づくりに尽力。2004年には日本初の村ぐるみのFSC森林認証を取得。2010年には、一般社団法人more treesの指導の下で九州自治体初のJ-VER取得。2011年から広葉樹活用事業「諸塚どんぐり材PJ」を推進。2015年から現職。



四万十町森林組合 森林整備部長 小野川 拓治

四万十町森林組合は原木の生産から流通・加工まで殆どの機能を兼ね備え、組合員と共に「地域にある人工林の付加価値を高め、森林を再生する」という目標を掲げ地道に努力を続けている。2006年からは、新たな取り組みとして、ココヨ(株)と「結の森プロジェクト」をスタート。森-川-海の関係性を結び合わせ、森づくりと地域づくりにおいて環境と経済の好循環モデルの確立を目指している。その他、これまでに四万十町とパートナーズ協定を締結する6企業の森林整備にも町と連携し取り組んでいる。またFSC森林認証を取得し、「環境・社会・経済」の各側面について配慮した森林管理を目指し、日々「新たな挑戦」をしている。



梶原町長 矢野 富夫

副町長を経て2009年9月より町長に就任し、現在2期目。「循環と共生」の社会を目指し、「健康・環境・教育・くらし・文化・産業」の6つの基本理念を基に、人と人の絆を大切にするまちづくりを進めている。2009年1月には国の環境モデル都市の指定を受け、自然エネルギーへの取り組みを推進。また、2000年10月に梶原町森林組合が団体としては国内で初めてFSC森林認証を取得するなど、町全体で環境保全に取り組んでいる。協働の森づくり事業では、これまでに6企業・団体とパートナーズ協定を締結している。梶原町内には、隈研吾氏の設計建築物が4棟あり、今後も図書館・福祉施設の2棟を建設予定。世界でも珍しい隈建築物を多数見学できる町でもある。



高知県知事 尾崎 正直

多くの企業・団体の皆さまと協働の森パートナーズ協定を締結し、森づくりを通じた環境保全・地域振興の取り組みを推進している。また、高知県では、県経済を根本から元気にするために「高知県産業振興計画」を策定し、官民一丸となって県勢浮揚に取り組んでいる。林業分野では、全国一の森林率を誇る本県の豊富な森林資源をダイナミックに活用して林業の再生を図ることにより「山で若者が働く、全国有数の国産材産地」の実現を目指している。本年度からスタートした第3期計画では、これまで取り組んできた「地産外販」をさらに強化するとともに、その流れを力強い「拡大再生産」の好循環へとつなげ、林業・木材産業クラスターの形成に挑戦する。